

エラー内容：負担領域が登録できませんでした。(〇〇 m2)

⇒ 【上物の場合】 水平構面領域・梁組の入力状況を確認してください。

床水平構面領域の外周線上は、必ず梁があるようにしてください。

また高低差も参照する仕様としているため、床水平構面領域のレベルが梁成の範囲内に収まっているか否かも確認してください。

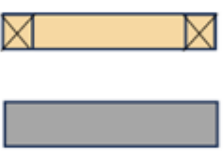
梁組の変更はせずに荷重を流したい場合は、構造材ダミー材の使用を検討してください。

特に土台レイヤの場合は、基礎と土台の関係性によって荷重の伝達の可否(下図参照)が異なるため構造材ダミー材の使用が必要になる場合があります。

土台レイヤに構造材ダミー材を入力した場合は、大引と同様に、構造材ダミー材の端点に配置されている材に対して集中荷重で伝達されます。

※NSCXstarの場合は木材に重ねてダミー材を配置できないため、

木材とは別のサブレイヤにダミー材を入力してください。

	基礎梁立上り	基礎梁立上り+人通口補強 or通気口・通気口補強	地中梁	基礎梁が途中で 途切れている場合
土台	 ○	 ○	 ×	 ×
構 計 ダ ミ ー 材	 ○	 ○	 ○	 ○

○× ……荷重が流れるか否かの判定

点線の⇒……荷重が流れていく方向

⇒ 【基礎の場合】 スラブの外周に基礎梁があるか確認してください。

基礎の方で表示される当該エラーは、構造材ダミー材ではエラー解除ができません。

下図の例では、ベタ基礎スラブの外周線上に、基礎梁が無い範囲があるため、

スラブ→基礎梁 に荷重が流すことができずにエラーが出ています。

その為、「ベタ基礎立上り」か「地中梁」を入力していただければエラーは解除できます。

